

<人吉市（西瀬校区）／住民>

日 時：令和2年10月24日（土）13時00分～15時00分

会 場：球磨地域振興局2階大会議室

参加者：34名

【発言者①】

最初にということでビックリしておりますけれども、私は宝来町に住んでいて、今回の水害で（聞き取れず）全壊となりました。

今は、まだカビが生えて、一階はスッポンポン、何もありません。家財家具全部水が来ましたので使用できなくなりました。今は剥いでしまっただ工さん待ちですけれども、大工さんがまだ決まっております。

私のお願いというのは、川辺川ダムについてのお願いです。川辺川の面積は球磨川全域の5分の1か、6分の1ぐらいしかないんじゃないかと思います。川辺川の景色も、（聞き取れず）もし穴あきダムを作っても、通常水位以上の放流水はあると思われます。

残った貯留水は長期で放流されると思われ、河川の汚濁につながります。川辺川の綺麗な自然、環境を残すためにはダムは必要ではないと思われます。検討をよろしく願いいたします。以上です。

【発言者②】

町内会の〇〇でございます。よろしく願いいたします。

町内会は北に5町内、南に5町内の10町内で構成されております。

今回の7月の豪雨により球磨川での氾濫により、ほとんどの町内に甚大な被害がありました。

本日、こういう意見を申し述べさせていただき機会を作っていただき、町内会長としまして、ダムの賛成、反対の立場ではありませんが、今回町民の大多数が生きるか死ぬかの経験をしたことと、今後、また水害が起こる可能性があるかと踏まえているならば、ここであらゆる検証をしていただき、そして住民の生命と財産を守るために、一番有効な方法を選択されることをお願いいたします。

そして今、治水対策の一つとして、穴あきダムの話が出ておりますが、自然環境に影響があるかを含めて検討をしていただき、住民が一日も早く安心安全で生活ができるように検証をいただきますように、よろしく願いいたします。

【発言者③】

相良町町内会の〇〇です。

今回の水害で自宅は大規模半壊、それから町内の公民館も1m70cm以上で大規模半壊、それから西瀬公民館も軒下まで水がきたような状況で、3つの施設、自分の家まで入れまして大変苦勞をしてきました。

今回こういう機会を与えていただきましたので、私はさっき2人述べられましたが、ダムというのは10年前に撤回されて、やはり綺麗な球磨川を作ろうとできておりますので、ダムじゃない方法を考えていただければなと思っております。

それとダムが作られるとしても、すぐはできないわけですよ。その間、治水対策をどのような形で進めていくか、ひょっとすると来年もこういう状態になるかもしれません。今もこういう状態ですので。佐賀県でもそういう状況が2年続けてあるとか、3年目にはあるとかという状態にきてますので、人吉球磨も、そういうのがまた来年、再来年、こういう被害があるかもしれません。

ですから、早急に治水対策を急いでほしいと思います。

今まで10年間やってこられたけど、さっきの資料を見ますとあんまり進んでいませんですよ。

そこを早急にやっていただいて、災害を防いでいただければと思います。よろしく願います。

【発言者④】

下薩摩瀬の〇〇です。

水害が発生したのは7月4日でしたが、7月1日広報配付のときに、町内会だよりを発行しました。

そのなかで梅雨末期でしたので、水害に注意しましょうということで、ハザードマップを示して、各町内、各班に、この班は大体何cmとか、何mとかいうようなことになっているので、それだけこっちには来ることはないだろうと思ながらも、梅雨末期ですので注意しましょうと促しながら町内会便りを出したんです。

実際に私の周りでは、ハザードマップでは50cm以下ということですよ。ハザードマップですよ。ところが実際に来たのは2mありました。そこでハザードマップってなんだったんだろうと思いました。

今度だけが特別だったのか、ハザードマップは本当に正しかったのか、疑問に思いました。

今後、ハザードマップはどうされるのかもお聞きしたいと思います。

それからどうしても私の疑問に残るのは、市房ダムの管理が適切だったのかなという疑問があります。さっき説明がありましたが、あんまりわかりませんでした。私は避難しましたが、避難の会場でも間もなく放水をしますという放送が

何回もありました。こんな時期に放水するだろうかと思って、段々放水を延期します、延期します、で、結局はなかった。放水しなかったんだろと思うんですが、本当に放水しなかったのかちょっと疑問に思いました。あの急激な水の量、出方から見てですね。

最後に、治水対策で川底を下げるとか、あるいは堤防をかさ上げする、ダムを作る、遊水地を設けるといふのがあると思いますが、もう一つ、遠い将来のことも考えて、周りの山をもうちょっと見つめ直す必要があるんじゃないかなと。山の保水力が落ちて、土石流も非常に頻繁に発生しておるんじゃないかなと思いますので、山のことも忘れないで、遠い将来も考えて力を入れていくべきじゃないかなと思います。以上です。

【発言者⑤】

下城本町内会の〇〇です。私は、7月3日の当日、朝、6時過ぎぐらいに下城本町内全部一周しまして、6時のときにはまだ何もうちの町内は異常がなくて、大丈夫だったのかなと思って我が家に帰ってまいりました。

そしたら、6時過ぎてから、7時ぐらいになってから、うちのほうは水が増えてまいりました。私は昭和40年の7.3水害のときに、うちのところは全然異常もなくて、むしろまだ1.5mぐらい下のほうで水が流れとったというぐらいのところに住んでおりますが、今度の場合は、国道、私の前の旧道と新しくできたバイパスの道、これが水のラインになって、裏のほうに押し寄せてきたというような状況だったのでビックリしました。

それでちょっと私が思ったのは、道路を作るときに、道路は全体的に高いものですから、道路の高さに合わせて皆さんの住宅ができていくわけですがけれども、道路を高くすると住宅も高くなって、下薩摩瀬、上薩摩瀬、宝来、あの辺の土地の高さが自然に高くなって、今年は九日町が1.5mも高くなった一つの原因じゃないかなというような疑問を持っているところです。

ですから道路を確かに高くするのはいいのかもしれませんが、やっぱりそういうところからあまり高くするのは、特に道路のかさ上げをせずに道路を作る必要があるんじゃないかなというふうなことをちょっと思いました。

それと、10年ほど前にダムを作らないと、ダムを作らなくて治水をしていくというふうな結論を出されて、それで言うておいて、いろんな対策をやってこられたと思いますが、それがその検証をしっかりとやっていただいて、そして、結果こういうことになったと、それを見比べていただきまして、しっかりと治水対策を考えていければというふうな思います。以上です。

【発言者⑥】

私は永野町内会、上永野町と下永野町の合併組織なのですが、球磨川の本流から南側に位置してしまっていて、高台のほうになるものですから、球磨川本流の災害は免れた町内になります。

ただ、この西瀬校区につきましては、川北の地区が今、各町内の皆さんが申し上げられたように、ほとんどの会長さんが被害を受けておられますし、町内が壊滅したような状態になっております。

ダム問題につきましては、賛否両論あるかと思うんですが、仮に関係住民のコンセンサスが得られて、ダムを作るようになったとしても相当の時間がかかると思います。

先ほどからも出てますように、今できること、それは何かというと、ダムに依らない災害を軽減する方策が河床掘削、あるいは遊水地、いろんな計画がなされておりますが、それらをもっと積極的に進めていただきたいというふうに思います。

あと私は、社会福祉協議会の地域の〇〇もしてるんですけども、町内会長さんをはじめ、地域で福祉活動に従事をされてる方のリーダーがほとんど災害に遭っておられます。

僅かに残った川南地区の高台のほうの町内についても、やはり支流の災害でそれぞれの町内が被害を受けていますし、この福祉活動をするにはもちろんほとんどがボランティア活動でやっているんですけども、この先を考えてみますと、もう10月1日から赤い羽根の募金活動が始まっていますが、そういった募金の地域で募金をした割合の何%かが地元に戻ってきて、それで活動するというような形になっております。で、大半の方々が被害に遭われていますので、いろんな募金活動あるいは援助をしていただきたいというようなことでお願いしてもこれはなかなか困難だと思います。

ほとんどの方が手を差し伸べるほうじゃなくて、手を差し伸べていただきたいというような方々になっておりますので、この辺の財政措置も含めた手立てを考えていただきたいというふうに思います。

それから今、西瀬校区では、大半の方々が仮設住宅とかあるいは親戚知人のところにおられたり、避難されたりしておられます。可能であるならば、いろんな規制はあるかと思うんですが、高台のほうで宅地を造成していただいて、ぜひそういった中で、あまり地域から離れなくて生活できるような、そういった住宅地を提供していただけたらなというふうに考えております。よろしく願います。

【発言者⑦】

下戸越町内の〇〇と申します。よろしくお願いたします。

この球磨川とか、川辺川につきましては、本当に治水対策としていろいろ議論していただいておりますが、私の町内には2級河川となります、鹿目川というのが町内の中心を流れております。

今回、その鹿目川のほうが氾濫しまして、数多くの住宅被害、農地被害がっております。

そしてまた鹿目川の堤防の一部が決壊しまして、大変な被害が出ているわけですが、今回のこの計画のなかでぜひ2級河川である鹿目川、あるいは胸川等々においても検証いただいて、ぜひ、こういった計画のなかに盛り込んでいただきますように要望いたしたいと思っております。よろしくお願いたします。

【発言者⑧】

鹿目町内の〇〇といいます。よろしくお願いたします。

今、〇〇さんが言われた鹿目川の上流になります。

鹿目町でございます。鹿目町は甚大な被害はありませんが、言われましたように、かなり鹿目川も増水しまして、用水路の流路変形とか溝とか、かなり被害を受けて来年の稲作ができるかどうか心配しているところでございます。

些細なことですが、河べり、球磨川にしろ支流にしろ、両サイドの雑木がかなり川を狭めて、それがかなり流れたり、橋に引っかかったりしたうえで被害が出ているんじゃないかと思っておりますので、いろんな対策をしながらも、兩岸の雑木そういったものも考えて除いていきながらしていただければ、被害はかなり防げるんじゃないかな、という些細なことですが、思ったところでございます。以上です。

【発言者⑨】

私は防災の任務に当たっておりました過去がありまして、昭和40年の災害のときは高校2年生でした。その後、46年、47年と災害が起きたわけです。47年は2回、堤防を越えております。40年当時は堤防を築堤したりして治水をされたわけですが、その後、47年と54年にも大きな水害が起きております。その後、ダムを作るか作らないかの賛成、反対の問題が起きたわけです。

私は、今回の水害でも、来年は来ないとは限りませんので、ダムを含めたところの治水をしっかりと考えていただければというふうに思います。

今回、50名の球磨川流域の命を奪った川でございます、やはりそれを、私たち防災の任務に当たったものは悲しくて仕方がないわけです。

やはり人の命というものと環境がどれだけ影響するか、私は、まずは命を守っていただいて、それから環境は考えるというふうにしていただきたいというように思います。私からは以上です。

【発言者⑩】

西間下町町内会の〇〇と申します。

まず知事にお話をしたいことが一つございます。

実は今回の水害におきまして、私の友人、知人、6名ほど亡くなっております。その中のお一人は中心市街地のスナックのママさんをしておりました。

そのママさんは深夜まで営業をなさっておるものですから、実はお店の1階で仮眠をとられていたわけです。そうしたところが、ひょっと起き上がってみるともう足元以上に水がきていた。なぜそういうふうな現実がわかったかという、携帯電話を通じて、自分のお母様と弟さんに救いを求められたそうです。その状況を思ったときに、どれほど恐ろしくて、どれほど悲しくて、どれほどの無念で、本当に死ぬ間際までどんな思いをされて死んでいかれたのかと思ったときに、私は胸が張り裂けるような思いがいたしました。

まず、そのような現実があったということをお考えいただきたい。

それから私の町内、この球磨川のすぐそこ、(聞き取れず)を越えるところにあるんですけれども、そこの約8割が浸かっております。

この会議に出るにあたりまして、町内会を代表する者として、地域の住民の皆様方にご意見をお伺いにまいりました。ご意見のなかで様々にご意見がございます。

12年間、ダムに頼らない治水対策といわれながらも、一体どのような治水対策がなされたのか、私たちにはよくわからない。

しかし一点、この表にも書いてありますとおり、矢黒、その人吉橋の築堤工事が行われておりますが、この築堤工事のおかげで私どもの地域はそれほど大きな被害を受けることがなかったのかなと思い、非常にこれは感謝をいたしております。

そしてまた今後、いろんな災害が起こらないとは限りません。防災という人間の思いあがった気持ちではなく、減災をするんだ、災害は必ず来る、その思いをもとに様々な検証を行っていただき、全てのものを含めたなかで、治水対策を執り行っていただきたい。

環境も大事です。人の命も大事です。そして我々は山の民であり、里の民であり、川の民でもあるわけです。この川から受けた恩恵は計り知れないものがあります。大事にしたいです。

しかしながら、やはり災害に遭いたくもないわけです。そこをよく考えていた

だき、全ての選択肢を考えたなかで、最高の治水対策をお願いしたいと思います。

最後に我々町内で今ボランティア組織を作りまして、仮設住宅に炊き出しにまわっておりますが、コロナの影響とか食中毒の心配なんかで、みんなの家の使用ができておりません。

みんなの家の使用ができれば、もっともっと大きな意味で災害のボランティアができます。我々の災害ボランティアの大きな目的は、そこにいらっしゃるお一人暮らしのお年寄りの方々とお話し相手等をする、喋り場の創設なんです。

温かいうどん、温かい炊き込みご飯はそれを噴き出すためのツールにすぎないわけです。どうか災害仮設住宅のなかでのボランティア活動をもう少し円滑に行えるような、そういう手立てを講じていただくと非常に助かります。以上です。

【発言者⑪】

七地町内会の〇〇と申します。

七地町は球磨川の左岸側に位置しております、幸いにいたしまして家屋の被害はございませんでした。

ただ、農地約20haほどございまして、冠水と相当な砂利等が入りまして、今年は稲作が不可能なところもだいぶございまして。

ですから、今年は食べるお米もないところもだいぶございまして。

農地は、農業にとりましても命でございまして、再度、災害が起きないとも限りませんので、一日も早い方策をよろしく願います。以上でございます。

【発言者⑫】

西瀬校区を管轄しております。人吉消防団第4分団の〇〇と申します。

本日は私のほうから一点、ご要望という形でお話をさせていただきたいと思っております。

これまで町内会長さんとかお話がありましたとおり、治水対策に関しましては早急な対応が必要だと思っておりますけれども、その中で消防団活動のなかで、消防団を構成する団員といいますのは、その地区の市町村民であります。

最近、ここ近年、問題になってますのは、消防団員の減少というところで、我々消防団も消防団員の確保にこれまでも苦勞してまいりました。今回の災害で、その住民の方々がその場からいなくなると、この地区からいなくなるということがありましては、今後の消防団の確保、または消防活動の低下という形につながりかねないというのを危惧しております。

そのためにはその住民の方々が、今後もその場で生活ができるような、そう

いった対策を今後とっていただければというところで、私のほうのご要望とさせていただきます。以上です。

【発言者⑬】

人吉市消防団の第4分団の〇〇と申します。よろしくお願いいたします。

私たちは災害当日、4時ぐらいに要請がありまして、早速集まって、私たちの管轄が矢黒町と永野町で、薩摩瀬町、大体、川の両岸です。西瀬川のほとんどが水害にあったところがございます。自分の管轄して行ったところは、矢黒町のほうの堤防沿いにずっと張り付いていたんですけども、6時過ぎぐらいから越えそうになってきて、水もはけずに段々溜まってきて、最初は積載車なんかで広報活動をやっていたんですけども、もう朝方だったものですから、なかなか人が出て来ないし、逃げてくれって言っても全然反応もない状態で、もういかんということで1軒1軒しらみつぶしにドンドン叩きながらやってたところが、どんどんどんどん溢れてきて、もう行けないところなんかも出てきて、そこで一番思ったのがやはり防災無線ですね。

あれだけの雨が降ったりするとやはり聞こえづらい。外にいても大雨が降ってる最中なんかはもう本当聞こえづらいです。

今回球磨川が氾濫したものですから、それで防災無線自体がもう水没して、もう機能してなかったりとかいうこともあって、それで大分逃げ遅れられた人もいるんじゃないかというふうに思います。

朝だったものですから、明るかったのもまだ多少はマシだったと思うんですけども、これが夜中だとしたら、夜中の3時とか、まだ真っ暗な状態だったらどうなったんだろうかと思うと、やはりちょっと怖い気持ちがありました。

ぜひ、この防災無線の整備を考えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

【発言者⑭】

人吉消防団第4分団第1部の〇〇と申します。

私が所属しております。第4分団第1部ですけれども、管轄している町内は、宝来町、相良町、上薩摩瀬町、下薩摩瀬町、下城本町の、5町内でございます。

7月4日の当日は朝4時過ぎに集まりまして、広報活動を2回行わせていただきました。

1回目の広報活動のときには水はほとんど来ておりませんでした。2回目の広報活動のときには既に水が来ているところがありまして、水が来るなかで、水をかいくぐっての広報活動をさせていただきました。

その際に、回っているなかで感じましたことは、それぞれご自宅にいらっしゃ

る方が多かったなという印象を持っております。

2回目の広報の時には、垂直避難をしていただくか、人吉スポーツパレスのほうへの避難を呼びかけたところですが、それでも今回の水害はかなり予想を超えるものだったなというふうに感じております。

今回の水害を受けまして、やはり早めの避難をしていただく、あるいは高台への避難をしていただくというところも大事だと。また、治水に関しましても、あらゆる検証をしていただいて、皆様が納得いくような対策を取っていただければと思ったところです。以上でございます。

【発言者⑮】

4分団第3部の〇〇です。

私が管轄しております消防団は、水害に関しましては先ほど下戸越の〇〇さんが言われましたが、球磨川の支流の鹿目川が氾濫するようなかたちで、被害が出るということがございました。それが大きくございました。

私たちもその際、避難を呼びかけておりましたけれども、回っている間に水位の上がるのが非常に早かったなという印象でございます。

そういったことで、治水に関しまして、確実に今後進めていただきたいなと思うことと、あと私たち消防団、私たちは子育てもしておるところでございます。

私たちの子どもたちは、今後、高校生なんですけど、今後進路を決めていく世代でございます。

私は、子どもにはこっちに戻ってきてほしいなと思うわけなんですけど、そういったときにそういった今の子どもたちがまたこの地域に戻ってきたいと思うような施策を、復興策を検討するにあたっては、検討していただければなとそのように思います。以上です。

【発言者⑯】

西瀬小学校PTAの〇〇です。よろしくお願いたします。

西瀬小学校の児童は6割が被災しておりまして、西瀬橋も流されて通学するのも大変困っております。

早く西瀬橋がまた通れるようになりまして、本当にありがたかったなと思います。

現在、子どもたちも歩いて登校できておりますが、4分の1の子どもたちはまだ保護者さんの送迎で通っているところです。

私も正門前の横断歩道で登校見守りをほぼ毎日しているところなんですけれども、やはり最初のころは子どもたちの表情も暗く、あいさつも小さく、元気がなくて心配だったんですけども、運動会が無事に開催できまして、子どもたち

も自信を取り戻せたと、日常が日常を実感できて、子どもたちも元気にあいさつできるように最近なりまして、本当によかったなと感じております。

子どもたちにとって人吉市はふるさとですので、笑顔で暮らせるような人吉にみんな考えていければと思っております。以上です。

【発言者⑰】

西瀬小学校PTAの〇〇と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

まずは子どもたちの学校生活を守るために、先ほどもありましたように、西瀬橋の早期復旧、また登下校支援、そしてスクールカウンセラーの増員等を県・市、また地域の会長さんをはじめ皆様には大変感謝しております。この場を借りてお礼を申し上げます。

ただしかし、やはり熊本地震の時もそうだったかと思ひます。子どもたちの悩みとか心のケアというのは、時間が経ってから必要になるというふうに聞いております。

ですから今後も更なるスクールカウンセラー、ソーシャルスクールワーカーさんたちの増員とか、配慮というのをぜひお願ひしたいと思っております。

私が福祉関係の相談員という仕事をさせていただいている関係で、いろいろな子どもさん、保護者と話をする機会もあったんですが、子どもたちは子どもたちなりに親のことをとても心配している話をよく聞きます。

ですからやはり、親の安定こそが子どもの安心、安定につながるものだと私は考えておりますので、ぜひ、私たち親が見通しをもって生活再建ができるように情報の発信であったり、今後の施策をお願ひさせていただければと思ひます。私からは以上です。

【発言者⑱】

西瀬小学校PTAの〇〇と申します。よろしくお願ひします。

まず、治水に関してなんですけれども、検討する場において積み上げてきた治水対策に対して、さらにもっと細かな検証をお願ひしたいと、地区ごとに。

私、個人的なことなんですけれども、十数年前に大阪のほうから移って来まして、そんなに長くいるつもりではなかったんですけど、この町を好きになって、この町に暮らす人々を好きになって、ここに移住してきました。

今回、この水害に遭いましたけれども、やはり人々を作るのは、この球磨川水系をはじめとした豊かな風土であると思ひるので、そこを守りながらこれから子どもたちにも育てていってもらいたいなというふうを考えております。

この豊かな風土を守りつつ、治水対策を早急に進めていただきたいと思ひます。私からは以上です。

【発言者⑱】

市議員をやっています〇〇と申します。知事にお尋ねします。

記者会見でダムによらない治水は経費、期間の面で実現可能性は遠いと思ったということが新聞報道にありましたが、果たしてそうでしょうか。

ダム以外の遊水地、河道掘削、堤防のかさ上げ、そして高台移転などは、時間とお金がかかるから実現は難しいとおっしゃるのでしょうか。

例えば、お金の面で申しますと、お金がかかるということでは、例えばダムによらない治水の工事は、地元の建設業をはじめ、地元の企業で全てできます。

国のお金を地元で落とすとして、建設業や住民が潤い、関連の産業が盛んになる、これはよいことなのではないでしょうか。

地域おこしになるんですから、大いにやるべきだと私は思います。

清流があるからこそ鮎が生息して、全国から釣り人が来る。清流だからこそ球磨焼酎がある。川に関する産業や観光業やそしてなりわいがあるんだと思います。

一方、ダム建設で地元が潤うでしょうか。

大手のゼネコン主導で行われるダム建設には、地元の建設業の景気はほとんど期待できません。

地元はトラック何台、人夫何人、そういう要請があるくらいです。

またダムが出来れば、鮎や球磨焼酎や観光も清流球磨川に関する産業の打撃は計り知れません。

地域経済の面からもダムによらない治水を進めていって、球磨川を継続的に整備していただきたいと思います。以上です。

【発言者⑳】

私は、青井阿蘇神社の近くに住んでおりました、大規模半壊の判定を受けたわけですが、そういう被災者の立場から蒲島知事にぜひお願いしたいことがございます。

川辺川ダムを含めて、あらゆる選択肢を検討したいと発言されておりますけれども、限られた財源のなかで使い道をどうするか。何を優先するかということは当然検討されたんですよね。

ですからまずは、被災者の住むところの確保と、商店などのなりわい、ここへの援助を最優先してほしいと思います。

それから次に2番目、市房ダムを含む川底の土砂の掘削、撤去をしてほしいと思います。

市房ダムにもかなり泥がたまっているというふうに私は思います。

3番目、先ほども話が出ましたが、球磨川に流れ込む支流、ここに目を向けていただきたいと思います。

例えば、胸川なんかは、大きな石ころがどんと流れてきております。

4番目、森林の管理に力を入れていただきたい。

5番目、肥薩線の復旧に尽力をしていただきたいと思います。

6番目、川辺川ダム問題はじっくり検討してください。

先の検証委員会で国土交通省が発表した、川辺川ダムがあれば人吉の浸水は6割減というような数字、これは、私は信用できません。科学的な根拠を国交省が明確に説明をしてほしいと思います。

最後に、これは質問です。私は故郷に戻ってきて6年になりますが、知事が中止を決めたあとも、川辺川ダム建設促進協議会が存続していたことに驚いています。

そして、この協議会のメンバーが、そっくり7月豪雨災害検証委員会に移行して、更に今回の川辺川流域治水協議会にも、そっくり移行しております。

このことについて不信感を覚えております。

なぜメンバーのなかに、被災者や専門の科学者を入れなかったのか、この件についての理由を説明していただきたいというふうに思います。以上です。

【発言者②】

私の病院も1.9m被災しました。

復興がままならないこの時期に、私たちは心の余裕がない。川辺川ダム、効果云々というのはとても納得ができません。

熊本県は誰のためにダムを作りたいのでしょうか。国土交通省のために造るのでしょうか。

最大の受益者は人吉ですよ。

でしたら人吉市民のために、丁寧な説明責任が熊本県にあると思います。

例えば、この資料の10ページを見てください。

この人吉地区、「球磨川本川」、「人吉地区」、この縦をずっと見ると、人吉地区は全く「掘削」がありません。

掘削というのは僕の判断では、堆積土砂を撤去することだと思うんですけれども、「人吉地区」縦軸、全く「掘削」がない。

「②」「③」の横軸、「河道掘削等」のところで、最後にいくと、「6,000億円」「50年以上」、「4,100億円」「50年以上」。

これはちょっと見ると、ものすごくお金がかかっている、50年とんでもない。これは諦めたと思うんです。

ところが、「人吉地区」は「掘削」が全くないんです。

蒲島知事、人吉の人吉リハビリテーション病院のちょっと上流から人吉橋までに、どれくらい土砂が堆積しているかご存知ですか。

大体、多いところは3m近くあるんです。断面積にして、平均360㎡です。

これを取っておけば、今回の洪水の被害は非常に軽減されたんです。

国土交通省は、15年間全く市街地の球磨川の掘削をしていないです。

これは掘削していたら非常に軽減されたんです。これはもう故意の過失ですよ。僕から言わせれば、犯罪に近いです。これは、東京だったら裁判を起こすと思うんですよ。

だから、この資料、これは熊本県の資料と書いていますけれども、これは国土交通省がダムを作るための資料なんです。

だから県知事も、もし国土交通省がちょっとおかしいなと思えば、「これはおかしいんじゃないか」というぐらいの進言をしてもらいたいと思います。

最後にまとめになりますけれども、やはりダムがあって一番助かると言われるべき人吉市民のために、もう少し隔たりのない公正な資料での丁寧な説明責任を熊本県にお願いいたします。以上です。

【発言者②】

私は、人吉市の中心、九日町に住み、今回半壊の認定を受けました。

水害直後、熊大の元先生たちが訪ねてきて、いろんな問題が出て来るので、みんなまで支援しますよと、水害復興相談、熊大教員OBの看板を置いていかれました。

知事にお伝えしたいことは、たくさんあります。

検証委員会の報告内容で、一点だけお伝えしたいことは、実績最大ピーク流量7,000㎡/sに関してですが、いくつも異なった数字が出されています。

これは小さいほどダムの効果が高く出る、非常に重要な数字です。

水害の直後、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターでは、9,800という数字を出されました。

これは検証委員会の約1.4倍です。

しかも検証委員会は質問とか疑問に答えないで、もう解散されたみたいですね。

ということは、私は今の段階で検証委員会の数字に関しては、とても信じる事ができません。それを根拠にいろんなことを進めていただくのは不安です。

それから先ほど亡くなられた方の無念さをうかがえました。心が傷みます。

でも、私たちはもし緊急放流があのとときあったとしたら、助からなかった立場です。

私は濁流のなかで、市房ダムの緊急放流の放送を何度も聞きました。

死が脳裏を横切る絶望感を体験しました。ダムは爆弾です。

それをいつも念頭においてやっていただきたいと思います。

私はダムは子どもたちのためにも絶対に反対します。

それと、必ずこういう計画を立てるときには、デメリットこれもしっかり押さえていただきたいと思います。

いろんな対策が出されていますが、いい面とそれから必ず裏にデメリットもありますので、そこは必ず入れていただきたいと思います。

今回の洪水は、ヘドロの量が多くて、ドブ川のようにだったとみんな言っております。

だから高圧洗浄を何度も繰り返す必要がありましたし、まだ悪臭がとれていない建物も多くあります。

なぜこんなに水が汚染されたのか、環境悪化が進んでいる証だと思えます。

それでもまだ、球磨川には尺鮎が育っています。

今ならまだ間に合います。川を安全だけでなく、美しい自然に戻してほしいです。

被災者の方からは、この間、川のことには忘れていたとか、もっと川とともに暮らし、川からの教訓を生活に活かしておけば、こんな災害時や住宅等の被害も出なかったのではないかという声も聞かれます。

そして会話は、楽しかった球磨川での水遊び、豊かな鮎漁や鰻漁、朝夕の川面の輝き、霧に包まれた球磨川、時々の雪景色、瀬音、鳥のさえずりへと広がります。

苦しみを体験した被災者の顔は思い出とともに、球磨川ラブソング、球磨川賛歌へと変化します。被災者がホッとする瞬間です。

球磨川は流域住民にとっては幸福感の中核です。被災者から球磨川を奪わないでください。豊かな球磨川を再生するのに手を貸していただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

これらの思いは知事のマニフェスト、あるいは川辺川ダムを撤回したときの知事の宣言の思いと一緒にです。

ぜひ、そこを踏まえて、進めていただきたいと思います。

【発言者⑬】

今回私は被災したときに、町中で料理屋をやっておりましたが、店は浸かり全壊でした。

それで早急に手を付けてもらいたいんですが、町中でいうと九日町側に（聞き取れず）中川原公園を撤去してもらいたいというのと、山田川の出口（聞き取れず）はいつもはけずに、毎年怖い思いをしているので、球磨川沿いにでも壁のよ

うな堤防を作ってもらって、その上に並べるようにしてもらいたいということと、前に水圧で壊れた中央病院側の堤防も削っていただいて、できる限り川幅を広げてください。

あとは山田川のバイパス、万江川のバイパスとかも考えていただきたいと思います。

あと、穴あきダムとかの話が出ていますが、下流域がどんな状態になっていくのかとかもあんまりわかっていないので、そういうところも教えていただきたいと思います。

あとはダムの白紙撤回とか、ダムの解体は全国で初めてだったので、まちづくりに関しては、全国で初めてとなるようなまちづくりをしていただきたいと思います。以上です。

【発言者⑭】

今、話をさせていただいた〇〇の家内でございます。

当日の朝、主人から連絡があって、水が入ってきたと。

心配していたんですけれども、その後全く連絡が取れなくて、放流をするということを聞いて、もう正直諦めました、その時は、無理だと。

他の人から、お話をお聞きしたときも、あつという間に上がったと、水が。

先ほどどなたかおっしゃっていましたが、本当に放流をしなかったのかと、そういう疑いさえ持つくらいやはり一気に水が上がったらしいんです。

先ほど主人も言いましたが、本当に人吉はいいところだと思うんです。

仕事上、よそからのお客様もたくさんみえられて、自分もこういうところに住んでみたいと、そういうふうにおっしゃった方もたくさんいらっしゃいます。

そういう自然豊かな人吉をできる限り残していただくような、そういう政策をしていただきたいと心から思います。よろしく願いいたします。

【発言者⑮】

〇〇と申します。

4点ほどお願いというか、確認です。

まずは言われているのが、中期・長期・短期の治水計画というのは、どこも皆さん今までされていますので、必ずそれを早めに。

正直、もうある程度の短期の政策というのはできていないと、県としての動きは遅すぎると思います。

ですので、早めの短期・中期については計画を提示してください。

あと、河川について、球磨川だけではなくて支流、やはり支流のものがかなりひどいと思っています。

僕の地域には、御溝川の下流部分があります。毎年、内水排除ができずに浸かっている状態です。それが今回特にひどくて、私の周りでは大体2mほど浸かったと。床上で1.5m、大体2m浸かっています。

ですので、これに関しても、もともとかなり以前から御溝川の下流部分の改修ということ言われているんですけども、全く今から20年ほど前、終わった段階で、それから上が全くされていません。

水というのは真っ直ぐ走るものですから、かなりクネクネと曲がっていますので、これはもう早めの改修というのをされるべきではないでしょうか。それも全部見ていただきたい。

それと、もっとその後に対しても、支流がかなり岩だとか溜まっています。

それもしておかないと、やはりまた同じようなことが進むと思いますので、それについても早急なものをお願いしたいです。

3番目が各自治体、まち・ひと・しごと総合計画ということで、人口減少においてやっているんですけども、地域の企業の方から言われたのが終活です。企業の終活、先が見えない、2代目3代目が作ることが難しい。だから自分の代で企業を閉めなければならない。

それが今回の水害によって、10年後に企業を閉めるというのが、結果、いきなり10年後20年後のが手前に来てしまったと。

だから地元の企業に対しての支援というのは、早急にやっていただきたい。ただでさえ人口減少につながっているのに、これらの企業は動いてくれない。

地元で働く人たちの確保ができないと、今後も地域というのがどんどん衰退していく。

4番目、くま川鉄道。お話を聞いたら、部分開業、そして肥後西村駅から湯前駅間、部分開業をやりたいということで動かれていると聞きました。

要は、ただそれに関して、かなりの手続きが時間がかかって、来年の夏以降ぐらいにしか開通ができないという話が出ていますので、この手続きに関しては、県も一緒に動いていただいて、早急な開通をやっていただきたい。

というのが、子どもたちの選択肢として、くま川鉄道を使って通学したい子どもたちが、結果、全線開通が3年後になってしまった場合には、子どもたちの進学ルートとしても結果、人吉市外の高校を進学したいということをもう結局子どもたちだけじゃなくて、下手すれば家族ごと、自分たちの仕事もこちらにはないので、出て行きたいという話も聞いております。

ですので、くま川鉄道の早急に運行への支援についてはお願いしたい。

以上、4点です。お願いします。

【発言者②⑥】

上薩摩瀬町の〇〇と申します。

私も被災をしまして大変な思いをしているところでございますが、言いたいことはこれまでの方で、かなり言っていただいた部分がございますので、何点か申し上げたいと思います。

まず1点目に、やはり治水対策に関しましては、これまでに計画されております10ページに書いてありますような事項を早急に取り掛かっていただきたいというふうに思っています。

それと、10ページに書いてある昭和40年7月洪水と同規模を目標流量とするというような計画になっておりますけれども、やはり想定外の想定外を想定したこういうような対策づくりが今後は絶対必要でないかと思っておりますので、その辺のことをよろしくお願いしたいと思っております。

それからもう一つは、この資料で説明いただいております国からの数字、これに伴った川辺川ダムありきの数字を見ますと、やはりあったほうがいいのかというふうに思う方も非常に多いと思っております。

ところがダムはいらないと、やはり自然を大事にしたいんだという方からすると、別の方策で治水をしていただきたいというふうなことでございますが、そういった方たちからの、具体的なこういうふうにするにすればいいんじゃないかという部分も我々住民のほうに提示いただいて、ダムがあった場合がどうなるか、なかった場合はどうなのかという、同じテーブルについたなかでの検討をさせていただけないかなというふうに考えております。

そして最後に、被災者支援、非常に手厚くやっていただきたいと思ひまして、具体的にいうと、全壊した人には、全員に1千万ぐらいやると国のほうから、そしてここに安全な家を建ててくださいというふうなかたちの具体的な数字での支援もお願いしたいと思っております。

なぜかというところ300万で家は建ちません。そしてそこに住めなくなった人たちはもうそこから離れていく、人口流出です。

そして、先ほども話がありましたように、子どもたちがそこに帰ってくるような地域もなくなると、家族もバラバラです、今。今現在もバラバラです。

ですから、そういう、地元に残るための施策も合わせたところをお願いしたいと思います。

それから事業所に対するなりわい、これも非常に使いにくいというふうに思っています。コロナ禍で売り上げが50%下がったところには、企業であれば200万すぐ出ました。

今回のこの水害に遭った人たちが、なりわいを再建しようと思って申請に行きますが、何回も何回も足を運んでも、なかなか前に進まないという苦情を聞き

ます。その辺をコロナ禍の申請、補助金と同じようにもっと使いやすく制度を改正していただきたいというふうに思います。以上です。

【発言者⑳】

中神町大柿から参加させてもらっています、〇〇といます。

今回の水害で一番感じたのは、やはり急激に水が増えたんじゃないかなというが、僕の感想です。

そこで一番感じたのは、絶対、市房ダムは放流しているよね。

そういったことで地域の人が今、これまで住んだ地域を出なければいけない、もう住みたくないという意見がほとんどなんですよね。

どういう治水対策をやってくれるのか、そこにまだ住み続けていいのか、まだ迷っておられる。

そういう被災者の声を、県がきちんと聞き取り調査をしてほしい。

一軒一軒来て、被災者の声を聞いてほしい。今テレビ、新聞で見ると、川辺川ダムありきの治水対策がやられようとしている。

本当にそこで被害に遭った住民の声、そういったものをキッチリ聞き、その上に立っての治水対策をしてほしい。

うちの地域では「ダムなんかいらん、市房ダムが絶対放流しているよ。だから短時間のうちに、2mも水が上がったんだ。」そういう声がいっぱい聞かれます。

そういった今からの生活、そこへ住み続けるか、出て行くか、そういった被災者の声をキッチリ聞いてほしい。

そのために県の職員なり、やはり聞き取りにずっと回ってほしい。意見を聴いてほしい。

その上に立って、僕たちのこれからの生活をキッチリ決めていけたらなと思っています。まだまだ判断がつかない人がいっぱいいます。

そういう時期に、ダムありきの治水対策で、被害に遭った人の本当の気持ち、そういったものを汲み取っていないよね、というのが、被災した僕の今の気持ちです。早くどうにかしてほしい。住むところを早く定めたい。

そういった自分自身の気持ちが、今ここに足を運ばされていることだと思えます。以上です。

【発言者㉑】

〇〇と申します。不動産業を営んでいますので、その観点から3つお願いしたいんですけども、今までのお話でもあったとおり、まだちょっと皆様目の前のことで精一杯で、こういった会があることも知らない、もしくはあってもちょっと名前を出すので来るのはどうかなという方もいらっしゃると思いますので、今後も

引き続いて、こういう県知事がいらっしゃるような案内をしていただきたいなというのがまず一つ目です。

二つ目なのですが、住宅の確保でお願いしたいのが、仮設住宅、みなし仮設などいろいろ施策があるんですけども、12月、もしくは1月ぐらいで公費解体の申し込みが終わるんですけど、ちょっと今間に合わない状態があるのと、仮設や、みなし仮設とかも家が人吉・球磨は全然足りませんので、ちょっと今月末、12月末ですとか、要は多分避難所の方たちは絶対的に入れないかなという状況になると思うんですよ。

ですので、そういった延長をお願いできないのかというのが一点と、あとは農地とか耕作放棄地であれば、被災者であれば農転が可能ですよとか、そういった施策をしてもらえば助かるというところがあります。

あと、自分も半壊を受けているんですけども、確か夜中ぐらいに、何度もレベルいくつかの警戒が出ていますとあったのかと思うんですけども、よい意味でも悪い意味でも、人吉球磨の人はちょっとそういった警報に慣れてしまっているんで、できれば「何々橋が落ちました」とか、「どこどこが浸水しました」みたいな具体的な方法を行政無線とかでしていただいたほうが、より逃げることを選択される方が多かったかなと思います。以上です。

【発言者⑳】

人吉の〇〇と申します。まず、復旧・復興に関しては人手が確実に足りません。大工さんも足りないです。瓦礫を撤去する人も全然足りないです。下流の球磨村のほうとか、まだ瓦礫だらけなんで、人手だと思えます、これは。

それから私が主に言いたいのは、治水の川辺川ダムのことに関してなんですけれども、私30年人吉に住んでおります。生まれ育ちもここです。

川辺川ダムを、30年住んでいて、会った人で川辺川ダム作ってほしいという人に会ったことがないんです。本当に一般に普通に生活してですね。

そういうことを感じていて、今回の水害で他県からボランティア団体の方が来られて、3か月いらっしゃった方がいたんですけども、その方と話したときに、その方は他県の方なのでいいのか悪いのかわからないという方だったんですけども、「僕もいろんなところに被災されたお宅にボランティアに入ったけれども、ダムを作ってほしいという人に会ったことがないんだよね。」と書いていたんです。

なので、私の感じていたことというのは本当に裏付けられたなと思っていて、なのでダム作りたいというような人たちというのは、会ったことがないというか、例えば首長さんとか、何とか議員さんとか、何とかグループとかあるかもしれないんですけども、一般の人たちの意見というのは、それが主だと確信した

んです、今回。

なのでそれを県知事にお伝えしたかったんです。本当に私が言っていることがどうなのかなと思われるんであったらば、住民投票とか、それから投票権のない子どもたちにも聞いてもらっていいと思います。きっと私のこの経験は裏付けられると思います。

それから私は川辺川とともに育ってきました。小さいころから川辺川と一緒に育ってきました。

それで川辺川に、ここに美しい川辺川があるから、このこの川とともに生活したい、ここで子育てがしたいと思って、都会からこの地へ戻ってきました。

2008年に、県知事が白紙撤回されたときは私は学生で東京にいたんですけども、一人でそれをテレビで観ていて、本当に嬉しくて声をあげて一人で泣きました。

県知事がそう言うてくださったから、私はここに戻ってきて、子育てをして、幸せな生活をしています。川辺川があるからです。ちょっと生意気なことをいうかもしれないんですけども、政治とか行政がある意味というのが、どうしてあるかというのは、人々が幸せに暮らしていくためにあるものだと私は思っています。県知事が、私が幸せに生きていくことが人吉でできるっておっしゃってくださったから、2008年に私は戻ってまいりました。本当にそのときは、本当にありがとうございました。

そして、今年の4月、私の息子4歳は、4月から川で泳いでいます。これは姪っ子と息子です。とってもきれいじゃないですか。後で、もしよかったら差し上げたいんですけども、こちらは合流点より上流の、市房ダムのある球磨川です。昨日撮ってまいりました。ヌルヌルしてるんです。臭いんです。ヘドロと土の、石なんてぬるぬるしていて、臭くて、本当にここで泳いだこともないです。泳ぎたいとも思いません。それで人吉市の人でも、みんな川辺川に行って泳ぐんです。合流点から下できれいな水で薄まっても、それでも汚くて臭いんです。なので、みんな川辺川で泳いで育って、それが生活の一部で、川のそばでコーヒーを飲んだりするような、泳いだりとか、遊んだりとかするそんな豊かな生活ができています。それは川辺川ダムを作らなかったおかげなんです。

だからどうか県知事さんには、川辺川ダムを作らないでいてほしいです。これはどのようなタイプのダムでもです。どうか本当に、私は川辺川の申し子だと私は自分で思っておりますが、本当にそういう人たちがいっぱいいます。その代表として、どうか川辺川をこのまま、サステナブル、持続可能という言葉おっしゃいましたね、ダムを作ったら川は死にます。だからサステナブルな、川辺川はこれで持続可能ですから、このままでどうかよろしく願いいたします。失礼いたしました。

【発言者③〇】

人吉市の〇〇と申します。

このような場を設けていただき、蒲島知事をはじめ関係者の皆様にお礼を申し上げます。

我が家は流されて破損した物損のみの被害ですので、被災者と並ぶのは浸水被害を受けられた方々に申し訳ないような気持ちですが、7月4日当日、自宅と実家に9名の友人知人が避難してきまして、直後の絞り出すような言葉を聞きましたし、その後、物資を届けたり、泥出し等の復旧作業も手伝ってきたなかで、たくさんの生の声を聴いてきました。

今まで聴いてきた住民の方の声と、あまりにもかけ離れた流域市町村長の皆さんによる川辺川ダム建設の要望に驚きと怒りを感じた者として、洪水にあった被災者の言葉をお伝えしたくてこの場に参加させていただきました。

7月4日当日、命からがらうちにたどり着いた友人たちの状況はさまざまでしたが、共通している言葉がありました。「放流がなくて本当によかった。あつたら死んどった」。あの日、市房ダム放流の予告におびえ、死を覚悟した人は数えきれないと思います。その後も、多くの被災者から同じ言葉を聞きましたが、「川辺川ダムがあれば助かった」という言葉を、私は一度も聞いたことがありません。

昭和40年の水害の後も、今回の水害の後も、多くの被災者がダムを受け入れないのはなぜでしょうか。一つは、2008年に知事が宣言されたように、清流球磨川は宝だからです。ダムが出来ればどうなるのか、川と共に暮らしてきた住民は知っています。

もう一つの理由は、ダムの放流や決壊のリスクや住民の疑問に対しての検証をせずに、説明責任を果たしていない国の姿勢に不信感があるからです。

最も大切なのは命です。では、川辺川ダムを作れば、大切な命を守れるのでしょうか。なぜダム、ダムと急ぐのか、急いでほしいのは川底を押し上げている土砂や漂流物の撤去、かさ上げや安全な場所への移転だという声はここに参加できていない被災者からも多く上がっています。

住民は来年もまた大雨に襲われるかもしれないという不安を抱えて、復旧作業を続けています。必要なのは川辺川ダム建設ではなく、命を守るために早急に行ける対策を行って、安全で希望を持てるような地域づくりのために、お金も労力もかけることではないでしょうか。球磨川は流域住民にとって大切な財産です。どうか水害で多くのものを失くした被災者から、清流球磨川まで奪うことのないようなご判断をお願いいたします。

【発言者⑳】

市内の下薩摩瀬に住んでいます〇〇といます。

2 m以上我が家には水が来て、全壊認定を受けました。2階にその日は避難しました。

そのとき一番怖かったのは、市房ダムが8時30分に放流するというニュースでした。もしそうなったら助からないのではと思いました。幸い消防署員の方が泳いでロープを持ってきてくれて、泥水のなかそのロープにすがって一命を取り留めました。家族や近くの方々もそのようにして助けられました。消防の方には非常に感謝してます。

それから今日まで、かつての日常を取り戻すため毎日必死でした。我々被災者は正直今ダム云々を落ち着いて考えるという状態ではありません。

そんなとき、あたかも川辺川ダムだけが解決策だというような報道や話が出てくるのが理解できません。考える暇を与えないようなやり方です。被災者にはまず復興が必要です。考える余裕のある生活が必要だと思います。そのことを前提とした上で、今私が考えたことを話します。

まず、今回の洪水の詳しい検証が必要だと思います。国交省のいう球磨川ピーク時の流量が、毎秒7,000 m³というのは本当なのか。これを基にして川辺川ダム建設の話がされていますが、これについては9,000から10,000とかいろいろな異論もあると聞いています。ダム建設の根幹になることですので、きちんとした検証が必要だと思います。

また、今回の洪水は、おそらく過去なかったほどの異常な水の量だと思います。地球温暖化の影響だとの指摘もあります。実際7月3日から4日にかけての雨の降り方は経験したことのないほどすさまじいものでした。地球温暖化は今後もっと進むだろうと言われていています。

そうであるなら、もし川辺川ダムが出来たとしても、想定を上回る雨が降ればダムは無効ですし、かえって被害を大きくするだけです。さらにダムは一度作ってしまったら100年ほど動かすことができません。100年間の気候変動まで想定しているのでしょうか。

また、ダム計画に翻弄された五木村はじめ、多くの人々に報いる計画なのでしょうか。

私は一被災者として、清流球磨川・川辺川を未来に残し、未来の人に責任を持てるさまざまな柔軟な治水対策を望みます。以上です。

【発言者㉑】

私は〇〇と申します。

今回、この書類の18ページ、治水の件ではなくて、復興・復旧プランのこと

について話そうと思っているんですけども、今回復旧・復興するにあたって当然事業主の皆さんだったりとか、なりわい再建支援補助を活用していったりとか、環境省の公費解体とかを活用されたりすると思うんですけども、まずなりわい再建支援補助金と環境省の公費解体の件、これのまずバランスが取れていない。なりわい再建支援補助金のとおりにしようとする、公費解体の対象外となる。公費解体のとおりにすると、なりわい再建支援補助金から外れますよというようなことが結構あるということです。

それとまず、先ほど〇〇さんがおっしゃっていたんですけども、そもそも何でその4分の1を僕らが負担しないといけないのか。なりわい再建支援補助金です。国交省のせいだと思うんですけども。4分の1負担する根拠というか、僕らが。4分の1負担をしたときに、まず、そもそもうちの会社だと5億とかを軽く超えてくると思うんですけども、保証人に入らないといけないんですけども、2億近い借金をするということですよ。消費税は別で。何でその2億近い借金を僕らが4分の1のためにしないといけないのかという点です。

そこら辺の、例えば熊本地震とか東日本大震災で、グループ補助金で4分の1だったよというので、じゃ今回も4分の1でいいやという感じで、適当に決めてないのかなあという点ですね。まず、向こうの地方だと地域のGDPとかそういうものが全然違うので、人口も違います。こちらは3万3,000弱くらいしかない。人吉市はですね。そのなかで商売をしていくにあたって、数億の借金というのは、3万3,000人程度の人口だととても返せないということですよ。

そこら辺のバランスも考えた割合にしてもらわないと、仮に活用してやりました、銀行も貸してくれましたとしても、2、3年したら会社潰れますよということになりかねないということですよ。そうすると、そもそも復興の目的に則していないということになるので、そこら辺もちゃんと考えてやってもらわないと、そもそも会社潰れるなど。保証人に入って僕らが自己破産をして潰れるんだったら。そもそもこれ活用しないほうがいいやとなる可能性も出てくるので、そこら辺も考えてもらって。バランスですね。

実際にその4分の1を負ったときにちゃんと復興できてたのかと、熊本地震のときの企業だったりとか、東日本大震災ですね。そこら辺も検証した上でやってほしいなど。

もっと言うと、例えば国の持続化給付金とか、熊本県休業要請協力金とか、それは2、3枚程度で、2つとも書いたんですけども、添付書類も決算書とかちょっとつければいいかな。休業要請協力金だと確か休業してますよという店の表に貼り紙をつける写真とか、その程度でよかったと思ったんですけども、会社の実態とですね。今回一番困っているときに書類が山ほど、多分うちだとまず

一つの設備につき2枚の書類、用意されてる書式で2枚書かないといけない。一つの設備にですね。うちは100を超える設備があるんです。しかもそれにカタログとか昔の型番とかつけないといけないとなると、最終的に書く量というのが多分1千枚とか、そういうレベルで書類を書かないといけなくなるんです。コロナのときにあれだけ簡単に、ざるみみたいな配り方したんだったら、一番困っているときにもうちょっと、さすがにざるみみたいに配れとはいわないですけども、もうちょっと簡単にというか、できるようにしてほしいと。一人一人、900事業者しか被災していないんで、今回は、被災した事業者はですね。

なりわい再建支援補助金を活用するのも900事業者くらいだと思うんですけども、ここに一人一人、県だったり国、一人30社ぐらい担当できるはずなので、派遣してもらえば簡単に30人ぐらいで多分できることだろうと思うので、そこら辺も考えてもう一回、できれば一から制度を練り直すくらい考えてほしいなと思います。以上です。

【発言者③③】

〇〇といいます。今、息子が言ったとおり、提出書類が多すぎて、またはうちの場合は今回、解体は環境省、それからなりわい補助金は国交省、それから酒税の関係がありますので、国税局という、3つの省庁にまたがった考え方をせんといかん。

ただ、その3つがばらばらのことを言うがために、これをやろうとするとこっちがだめ、それは対象外なんです。ただなりわい補助金のほうではこうしたほうがいいです、まとめたほうがいいですよ。例えば機材と建物をまとめたほうがいいです。名義なんかがそのままうちの祖父の名義、もうとっくに亡くなっている、祖父の名義になってるような場所もありまして、それを会社として一本化したほうがということと言われるわけですね。

ところが環境省の解体のほうについては、7月4日以降に名義変更をしたものについては対象外であるというので、それはできませんと。ちょっと待て、そうなるとうちはどこの話を聞いていけばいいんだろうか。

また、解体をするにあたって、こっちの建物を先に壊して中にあるタンクとかそういったものの中身を出さんと、解体できにくいし、高濃度アルコールなので、仮に火花が万が一どこか鉄骨なんかを切ってるときに火花が飛び散ったりすると、下手すれば爆発する可能性だってあるわけですね。

そういったものを含めて、こっちから最初一旦解体してもらって、その上で中身を引っ張り出すというようなことをせんといかんのだけでも、途中で工事を止めることはできませんと。そうするとどうしていいやらという話になって、申し込みもできない状態で今いると。

そうこうやっているうちに期限はどんどん過ぎていき、受付期間が終了してしまうということにもなるので、非常にどうしていいのかわかっているような状態です。

なので、せめて「こういうケースもある」とか「ああいうケースもある」ということで、例外的なことを考えてもらうというようなことをしてもらわないと、全く進められないということです。

それと、確かに今いいましたこのなりわい再建補助金等の申請は、悪用される可能性もあるがために厳しくしてあるということはわかるんですけど、悪用された場合、罰則を厳しくするとかですね、そういった方向で申請自体は簡単にしてもらわないと、もうこの申請がややこしい、難しすぎる、手間がかかりすぎるということで、いろんな方が諦めています。もうやめたと。申請をこれだけやっても、さっきいったとおりに実際に4分の3しか出ないわけですから、数年後にその借金、自己負担分の借金なりなんなりは返せなくて、倒産するぐらいならもうせんほうがいいと。簡単ではないがために。そういうことが多いので、その辺ももう少し簡素化していただきたいなというふうに思います。

それから、さっき〇〇さんがおっしゃったとおり、球磨川の場合、うちはもう既に4回床上浸水の経験がありまして、昭和40年には1m85cmぐらいの浸水があったんですが、今回4mほどになりました。さっきおっしゃられた川底の問題ですよ。

川底が我々が昔木山の淵というところで、よく泳いでたりしたんですが、その頃は3m前後あったんです。今は立つと腰付近、約1m前後の深さになっているんです。それを考えただけでも、約2m川底に土砂が堆積してしまって浅くなってしまっているんです。案の定うちは1m80から4m。ちょうど約2mですね。今回の水害の段階でそれだけの水深という状態になっているということなので、知事には申し訳ないんですが、川辺川ダム建設を中止された決断をされたのも知事です。今回、今度はまた作る方向で、というような話をされてる、決断をされるのも知事だとは思いますが、変な言い方をすると、そしたら前回のダム建設の中止という判断は間違っていたのかというふうにも取られます。よく被害者の、今日話を聴いているとほとんどまだ、実際はあまりダム建設については賛成の方というのはほとんどおられなかったような感じなんですが、実際に今回のダムを作るという判断をされるに至っては、誰の意見を聴かれたんだろうかというふうに感じます。

なるべくなら実際にここにおられる方、ほとんど被害を受けておられる被害者の意見を聴かれたほうがいいのではないかなというふうに思います。以上です。よろしくをお願いします。

【発言者③④】

この歳で急ぎよ参加しましたが、これが私はもう早急にやってほしいと思うことがあるからです。それは〇〇さんからもありました、今もちょっとありましたが、堆積物がものすごいです。この原因は何かというと、あるイベントをやって、そのままそれを放置しているからです。イベントというのは、これは水の手橋から山田川の入り口まで、これはカヌーをされたからです。その後、元に戻せばいいのを、そのままずっと放置されてます。ですから、わかるように左岸は水がずっと流れて私たちはそこを泳いだり歩いたりしておりました。そのぐらいの水位でした。

対岸のカヌーをされたところは、流れは結構ありましたが、その水の手橋のすぐ下のところ、これは人工的に土石を積んで、そしていろいろ堰を作ったような状態です。その結果何があったかといったら、結局そういう状態だったので、いろいろさっき話をされたように、上流のほうは堆積してます。

それからもう一つは、それをやることによって中川原がものすごく太り、そして高くなっています。その部分を全部外したら今回は少なくとも1m以上水位は下がっていたと思います。それは、はっきりと私は検証できると思います。

それを取り除いていたら、結構、人吉市内の水害はものすごく変わっていたと思います。これは確実です、それは。

もう一回、よく知事見てください。今現状を。そのイベントをやった状態がそのまま残っていますから。実際に歩いてみてください。私も最近も検証しましたが、私は5、6年前に上下坂から歩いて池の下というところまで2日間かけて、一人で歩いて検証してまいりました。さっき話をしたように、人吉市内の場合はものすごく上下坂からずっと見て、今言ったところを含めて、土砂が堆積しています、ものすごく。そして渡から瀬戸石駅のところまではまた川の状態が全く違います。

だから上流はそうやって削ったらある程度は防げるとは思いますが、渡から以降のところは全然川の状態が違うんです。だから削り取るというのは、非常に難しいと思います。

もう一つ、この会のことでいいますと、水害の検証し、そして復興、そして今後どうするかという、水害をどう防いでいくかということがこの大きなテーマです。残念ながら町内会の方たちの、確かに地域の検証をされたんでしょうけれども、大きな目で検証はしなければいけないと思います。

だから、大きな目で見てどうしたら一番いいのかというのを考えることが必要なんです。だから、残念ながらこの名簿上に書いてある方の何人かの部分は参考になりますが、他は私はあまりこういうところでの大きな話し合いじゃないのではないのではないかなと思っています。今日聴いてですね。

それから市房ダムの方がちょっと出ましたが、私は市房ダムのすぐ下の学校に勤めていました。ずっと自然を見ておりました。その状態から見ると、ちょうど水害が起こる、いわば梅雨から台風時期までのことを検証してみると、市房ダムは用水が中心です。正直いって。

結局12年前に検証されていたダムは市房ダムと同じような状況のダムだったわけです。というのは、あまり時間がないので言いませんが、そのときの状態で知事がダムをなくしたというのは私は大英断だと思います。大賛成です。

あとはもう時間と言えませんが、ヘドロの問題も出ていましたが、これもどういうかたちでヘドロが多くなったかも私は知っています。それは五木に5年間いるときにちょうど通りのところが家を崩されて、そして状況がずっと変わってきたのをずっと見ています。だから、そのときの状態、そのときのこと、要は木は切られ、そしてそのまま放置されている。だから水が増えたら、当然流れてくるものは、このヘドロとして流れてきたと私は思っています。

他にいろいろ言いたいことはありますが、まずカヌーでやったその後のところを元の状態に戻してほしい。そしたらさっきもいいましたように、人吉市内の水害は1m以上は水位が下がった状態だったと私は思います。だからそういうことで、ダムを作っても何をしても、現状の状態はいわゆる線状降水帯ですから、これが起こる限りは、そしていつ水害が起こるかわからない。その限りは水害は決して免れないとは思いますが、できるだけそういう部分を少しでも減らす工夫をしてもらいたいと思います。以上です。

(以上)